

平成25年3月期 第4四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月29日

上場会社名 株式会社家族亭 上場取引所 大
 コード番号 9931 URL http://www.kazokutei.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 光宏
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 後藤 秀明 TEL 06(6227)6030
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第4四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第4四半期	16,109	64.9	398	84.8	425	90.4	75	—
23年12月期	9,769	—	215	—	223	—	△81	—

- (注) 1. 包括利益 25年3月期第4四半期 83百万円(—%) 23年12月期 △87百万円(—%)
 2. 決算期の変更に伴い、当期は15ヶ月の変則決算になっております。このため、平成25年3月期第4四半期の対前年同四半期増減率については、参考として記載しております。
 3. 平成23年12月期については、通期の数値を記載しております。
 4. 平成23年12月期(年度)より連結財務諸表を作成しているため、平成23年12月期の対前年四半期増減率については記載していません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第4四半期	10.74	—
23年12月期	△11.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第4四半期	11,088	3,615	32.6	514.18
23年12月期	10,979	3,591	32.7	510.82

(参考) 自己資本 25年3月期第4四半期 3,614百万円 23年12月期 3,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭		円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	—	410	—	430	—	210	—	29.87

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有
 2. 平成25年3月期は決算期変更の経過期間になることから、通期については15ヶ月(平成24年1月1日～平成25年3月31日)の業績予想を記載しております。このため、通期の対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期4Q	7,056,200株	23年12月期	7,056,200株
② 期末自己株式数	25年3月期4Q	25,355株	23年12月期	25,323株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期4Q	7,030,859株	23年12月期	7,030,892株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の実施中でありませぬ。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第4四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第4四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第4四半期連結累計期間における我が国の経済は、当初は東日本大震災からの復興需要により緩やかな回復基調にありましたが、欧州債務危機の長期化や近隣諸国との関係悪化が企業業績にも影響し、全体的に停滞感が強まる状況となりました。

外食産業においても、デフレ基調の長期化や雇用、所得環境の低迷などから、依然として消費者の節約志向は強く、食材価格が高値圏で推移したこともあり、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社の当第4四半期連結累計期間の業績は、売上高16,109百万円、営業利益398百万円、経常利益425百万円となり、店舗リニューアルに伴う固定資産廃却損等による特別損失99百万円や法人税等を計上した結果、四半期純利益は75百万円となりました

各セグメントの概況は以下の通りです。

① 外食事業

外食事業を営む㈱家族亭の当第4四半期累計期間の業績は、売上高8,431百万円、営業利益158百万円となりました。

主な取り組みとして、家族亭創業65周年となる本年度は、創業から現在まで家族亭を支えていただきましたお客様への感謝の意を込めて、特別メニューの提供や記念イベントなど積極的な販促策を講じました。店舗においては1月に新業態「田舎つけそば のぶや」を霞が関コモンゲートに出店いたしました。お昼のつけそばに加えて6月からは夜の「ちょい飲み」に対応したメニューも取り入れるなど、昼は「田舎つけそば」、夜は「座って飲める立ち飲み屋」へと一新を図りました。11月には横浜市のみなとみらいに、12月には江東区の深川ギャザリアに出店するなど、今後、新業態「のぶや」を成長の新機軸として完成度を高め、出店拡大に注力してまいります。

また、10月には阪急うめだ本店12階レストラン街「祝祭ダイニング」に、『うどんの詩』を出店いたしました。百貨店顧客に対しては、阪急百貨店及び阪神百貨店の友の会会員様および阪急・阪神両百貨店のハウスカードのペルソナカードの会員様向けクーポンの発行やイベントを開催するなど、百貨店顧客の共有に向けた取り組みを今後も推進してまいります。

海外においては、6月初旬に、当社の海外子会社が、ジャパニーズ スイーツ&スナックショップ「Harajuku Delights」をインド・ニューデリーに初出店いたしました。タイ・バンコクにおいては、日本を代表する料理（炭火焼、鉄板焼き、天ぷら、寿司など）を4種類のステージに集結し、お客様に調理パフォーマンスを見ながら食事を楽しんでいただくショーキッチンスタイルを取り入れた「旬の舞」の2号店のF C出店と、しゃぶしゃぶを中心とした日本料理店「かごの屋」の2、3号店をF C出店いたしました。そのほかにも「家族亭」7店（タイ3店、中国4店）及び「Harajuku Delights」1店（インド1店）をF C出店いたしました。

営業網の整備においては、直営店舗として新規出店9店（F C（フランチャイズチェーン）からの移行を含む）、閉店8店（F C化に伴う閉店を含む）により108店となりました。また、F C店舗は新規出店11店（直営店舗からの移行を含む）、閉店10店（直営化に伴う閉店を含む）により101店となりました。海外店舗は出店12店と閉店3店により24店となり、提携店舗は出店1店と閉店1店により5店となりました。

この結果、当第4四半期末の店舗数は、直営店舗108店、F C店舗125店（海外24店含む）、提携店舗5店の合計238店となりました。

② 製造事業

製造事業の当第4四半期累計期間の業績は、売上高7,691百万円、営業利益240百万円となりました。

2011年10月末に子会社化した中野食品㈱において、調理麺については積極的商品提案により順調に推移したものの、チルド麺については大手スーパーの売上低迷による出荷減少、並びに収益性の低い大手スーパーとの取引を中断したことにより、前年に比べ減収となりました。しかしながら継続的に進めている資材購入価格の全面見直しによるコスト削減や、製造コスト、諸経費の見直しを重点的に取り組んできた結果、前年に比べ大幅な増益となりました。

また、本年8月には、製造事業において2社目となる寿製麺㈱（兵庫県宍粟市）を子会社化いたしました。11月には㈱家族亭が兵庫県西宮市に保有する製麺工場の業務を寿製麺㈱に移管し、グループ内の製麺効率の向上に向けてスタートを切りました。さらに、外食事業の魅力度アップのため、外食店舗において提供する、より上質の麺や新種の麺を中野食品㈱が開発し、関東地区は中野食品㈱が、関西地区は寿製麺㈱が製造する体制づくりを推進しております。

当社グループとエイチ・ツー・オー リテイリング グループ各社との相乗効果といたしましては、家族亭において、上記(①外食事業)に記載の通り、百貨店顧客の共有に向けた取り組みの推進のほか、㈱阪急クオリティーサポートによる当社グループの工場や国内店舗(FC店舗を含む)の衛生点検・指導など、グループインフラの活用による魅力度アップや食の安全・安心の強化などにも取り組んでいます。調達面においても、共同入札によるコストダウンなど相乗効果の最大化に鋭意推進しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第4四半期連結会計期間末の総資産は11,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円増加しました。これは主に、寿製麺株式の取得による同社の子会社化等に伴い、土地が68百万円、のれんが79百万円増加した一方で、減価償却に伴い、建物及び構築物が54百万円減少したことによるものです。

負債は7,473百万円となり、前連結会計年度末から85百万円増加しました。これは主にエイチ・ツー・オー リテイリング㈱からの短期借入金が480百万円増加し、未払法人税等が214百万円増加した一方で、銀行等からの借入金の返済により長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が585百万円減少したことによるものです。

また、純資産は3,615百万円となり、前連結会計年度末から23百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が5百万円、その他有価証券差額金が13百万円、為替換算調整勘定が4百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期累計期間の業績予想につきましては修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成25年1月29日)に公表いたしました「業績予想との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。また、通期の業績予想につきましては、第4四半期累計期間の実績を踏まえ、軽微な修正をしております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第4四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,145	969,928
受取手形及び売掛金	1,555,477	1,570,449
商品及び製品	21,684	36,984
原材料及び貯蔵品	312,150	332,672
繰延税金資産	65,549	35,409
未収入金	133,500	173,853
その他	152,381	126,775
貸倒引当金	△3,377	△3,082
流動資産合計	3,288,513	3,242,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,837,475	2,782,504
機械装置及び運搬具（純額）	506,477	489,078
工具、器具及び備品（純額）	94,405	102,362
土地	1,586,354	1,655,154
リース資産（純額）	82,076	68,164
その他	—	635
有形固定資産合計	5,106,789	5,097,899
無形固定資産		
のれん	112,128	191,698
リース資産	11,470	3,725
その他	55,590	148,741
無形固定資産合計	179,189	344,165
投資その他の資産		
投資有価証券	89,862	108,155
関係会社出資金	48,762	66,991
長期貸付金	41,922	61,956
繰延税金資産	77,431	89,351
敷金及び保証金	2,093,119	2,025,802
その他	114,584	125,372
貸倒引当金	△60,455	△74,335
投資その他の資産合計	2,405,226	2,403,294
固定資産合計	7,691,205	7,845,359
資産合計	10,979,718	11,088,350

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第4四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,370,919	1,299,515
短期借入金	419,025	899,997
1年内返済予定の長期借入金	805,560	710,584
1年内償還予定の社債	35,840	35,840
リース債務	23,420	22,406
賞与引当金	11,907	10,355
未払金	742,002	828,637
未払費用	186,634	198,750
未払法人税等	2,038	216,956
預り金	157,477	76,801
その他	96,105	65,930
流動負債合計	3,850,932	4,365,774
固定負債		
社債	52,880	17,040
長期借入金	2,921,070	2,430,448
リース債務	74,985	52,578
繰延税金負債	—	18,634
再評価に係る繰延税金負債	59,514	59,514
退職給付引当金	169,322	206,862
役員退職慰労引当金	38,859	44,784
長期預り保証金	135,724	152,548
資産除去債務	68,732	87,847
その他	16,211	37,212
固定負債合計	3,537,300	3,107,470
負債合計	7,388,232	7,473,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,465,784	1,465,784
資本剰余金	1,425,506	1,425,506
利益剰余金	1,187,072	1,192,247
自己株式	△13,932	△13,954
株主資本合計	4,064,430	4,069,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,674	12,171
土地再評価差額金	△466,371	△466,371
為替換算調整勘定	△4,899	△506
その他の包括利益累計額合計	△472,945	△454,706
少数株主持分	—	227
純資産合計	3,591,485	3,615,104
負債純資産合計	10,979,718	11,088,350

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第4四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第4四半期連結累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年12月31日）
売上高	16,109,160
売上原価	13,166,890
売上総利益	2,942,269
販売費及び一般管理費	2,543,343
営業利益	398,926
営業外収益	
受取利息	2,682
受取配当金	3,379
不動産賃貸料	117,055
その他	35,857
営業外収益合計	158,974
営業外費用	
支払利息	51,222
不動産賃貸費用	46,546
持分法による投資損失	14,305
その他	20,366
営業外費用合計	132,441
経常利益	425,459
特別損失	
固定資産廃棄損	24,086
固定資産売却損	551
関係会社投資等損失	21,180
減損損失	28,025
その他	25,325
特別損失合計	99,170
税金等調整前四半期純利益	326,289
法人税、住民税及び事業税	249,495
法人税等調整額	11,416
法人税等合計	260,912
少数株主損益調整前四半期純利益	65,377
少数株主損失（△）	△10,105
四半期純利益	75,482

（四半期連結包括利益計算書）
（第4四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第4四半期連結累計期間 （自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	65,377
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	13,845
為替換算調整勘定	4,393
その他の包括利益合計	18,238
四半期包括利益	83,615
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	93,720
少数株主に係る四半期包括利益	△10,105

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

第4四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	外食事業	製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,428,291	7,680,869	16,109,160	—	16,109,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,098	10,350	13,449	△13,449	—
計	8,431,389	7,691,220	16,122,610	△13,449	16,109,160
セグメント利益	158,587	240,338	398,926	—	398,926

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。